事業名 : 水産流通基盤整備事業

地区名 : 糸満地区糸満漁港(沖縄県糸満市)

●地区の概要

本地区は、沖縄県南部に位置し、主にマグロ類、ソデイカ等の取り扱いの多い県下唯一の第3種漁港である。また、現在計画が進められている市場移転統合後は県内最大の水産物取扱量となり、国内外へ向けた水産物流通の拠点となることが期待されている。

●目的

漁港施設用地が狭隘な泊漁港からの市場移転・統合 に伴い、水産物取扱量の増大に対応するため、高度衛 生管理型荷さばき施設等の整備により、水産物の流通 機能の強化を図る。また、荒天時の安全係留を可能と する岸壁及び波除堤への防風施設の他、臨港道路の整 備により漁業活動の効率化を図る。

事業内容

・主な事業量 : 波除堤G(改良) L=150m

-3.0m岸壁(1)(改良) L=230m 荷さばき施設(新設) 一式 加工用水・排水施設 一式 等

· 事業費 : 5,000百万円

• 事業主体: 沖縄県

•事業工期:令和元年度~令和9年度

• 令和7年度実施要望額(事業費): 287, 334千円

(国費):249,000千円

令和7年度事業実施予定箇所:第2防波堤(北) L=130m用水(舗装) 一式





台風に備えた避難係留状況 (強風を遮る施設がなく、漁船が動揺し、 十分な安全性が確保されていない)

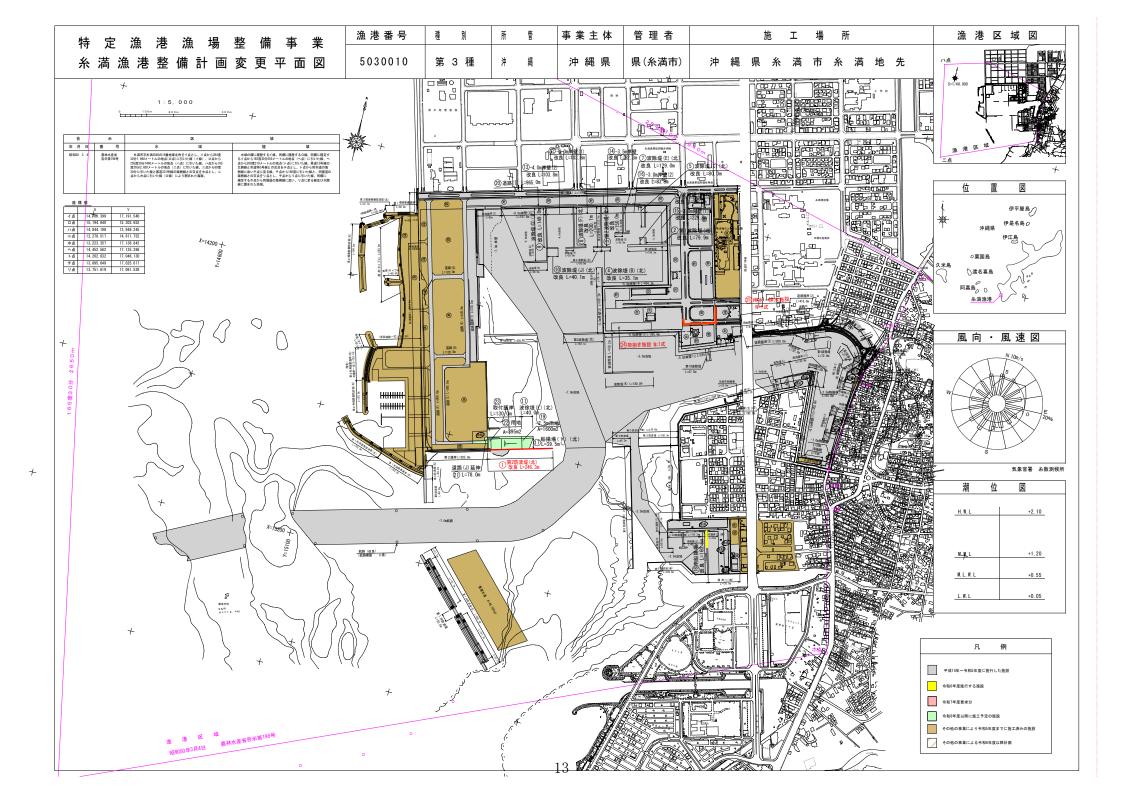


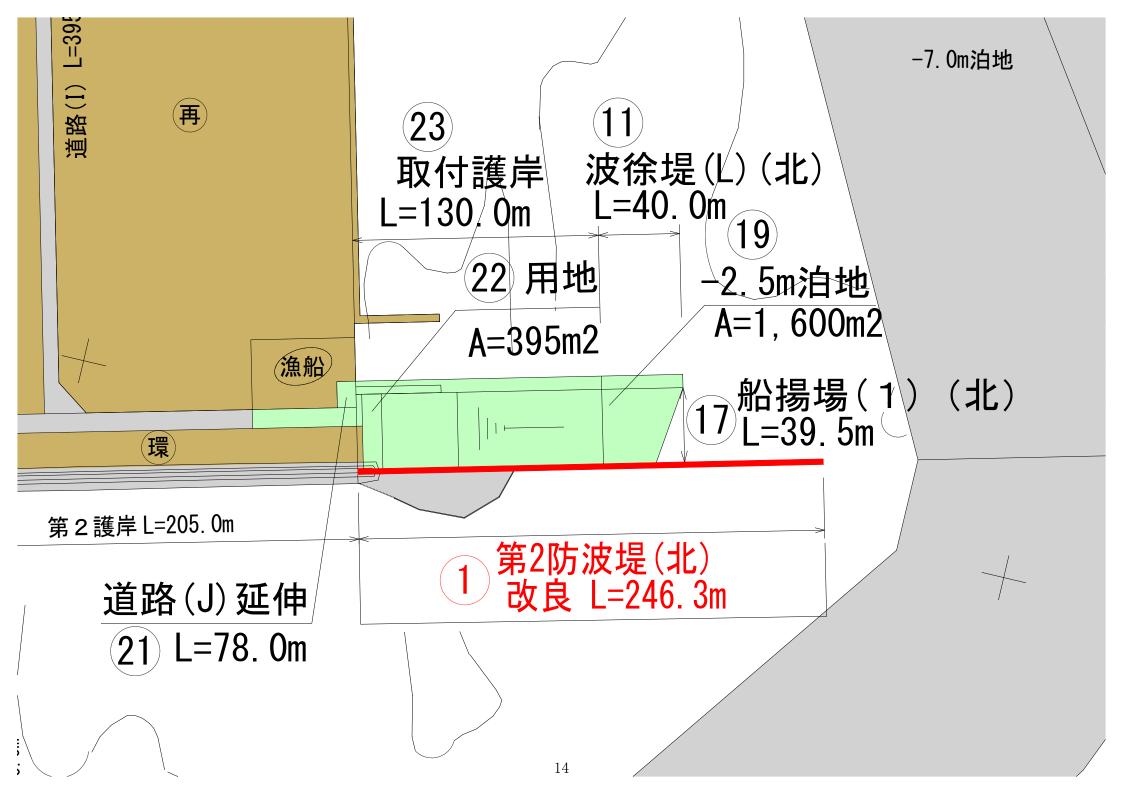
現荷さばき施設でのまぐろセリの様子 (衛生管理型荷捌施設を計画し、一貫 した衛生管理体制の確立を目指す)

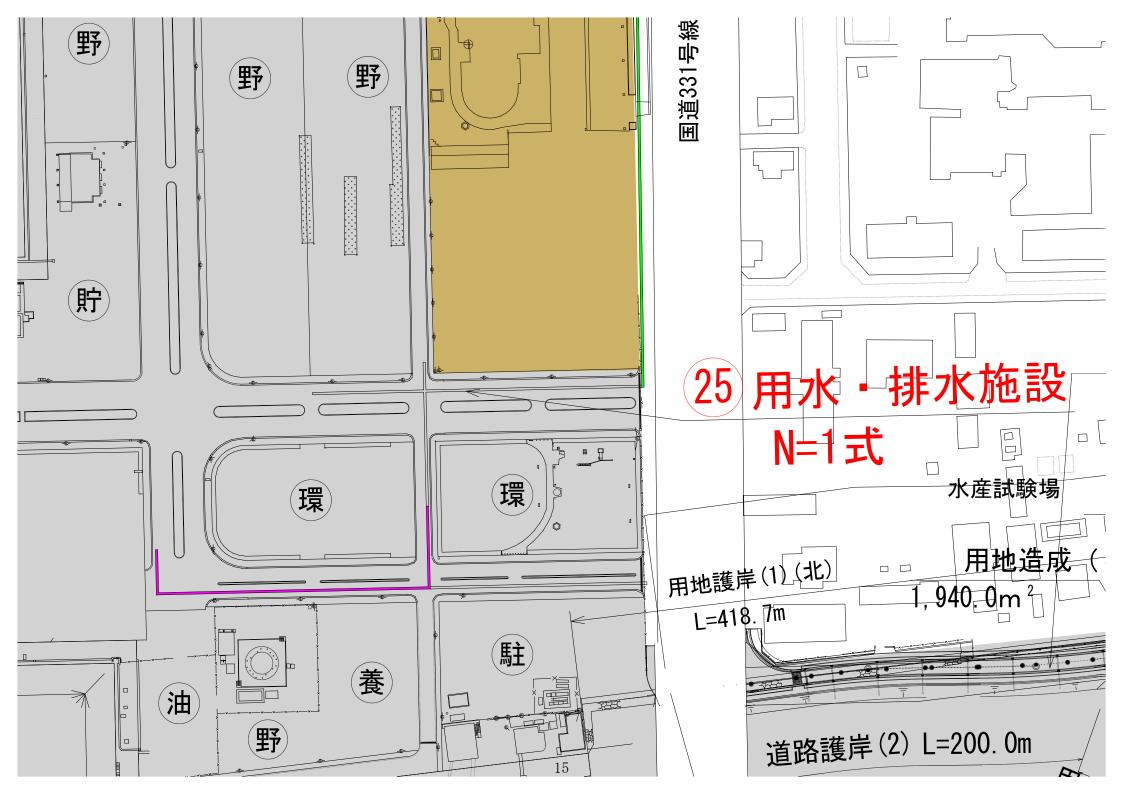


位置図

泊漁港の市場機能を移転・統合し、 糸満漁港における水産物流通機能 を強化









糸満漁港 第3種 沖縄県管理 昭和36年指定 令和4年撮影